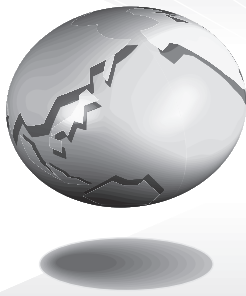


学術交流委員会だより



中華医学会影像技術学会
(Chinese Society of Imaging Technology : CSIT)
第 20 次総会学術大会参加報告書

はじめての英語口述発表 in アジア圏の国際学会

派遣員 倉本 卓 九州大学病院

派遣国際研究集会 : CSIT (Chinese Society of Imaging Technology)

開催場所 : 中国吉林省長春市

開催期間 : 2012年9月20日~23日

Basic Study in Light Weighting and the Scattered Protection Effect of the Radioprotective Protector

Taku Kuramoto,¹ Tadimitsu Ideguchi,² Yuki Nakahara,³ Yuji Tachibana,⁴
Yeunhwa Gu,² and Takato Ishida⁴

¹ Division of Radiology, Department of Medical Technology, Kyushu University Hospital

² Department of Radiological Science, Junshin Gakuen University

³ Department of Radiological Technology, Yamaguchi University Hospital

⁴ Department of Radiology, National Hospital Organization Kyushu Medical Center

At present, interventional radiology (IVR) procedures tend to be complex, resulting in increasing fluoroscopy time. Therefore, the radioactive exposure of medical staffs is not ignored. Radioprotective protector was used for one way to reduce the radioactive exposure. However, conventional protectors are heavy as they are made of lead sheet. Therefore, the radioactive exposure reduction of the lightweight type protector is required. Recently, a lightweight type non-lead protector using the composite material attracts attention as a replacement of a conventional heavy lead protector. The weight is one-fifth in spite of the same lead equivalent as the latter. However, to our knowledge, there is no scientific evidence about the radioprotective effect of the light non-lead protector and the lead protector. Therefore, we compared the protection effect between the lead protector and the lead-free protector of the same lead equivalent.

We measured the scattering intensity with the ionization chamber survey meter in various fluoroscopy situations. Also, we measured the spectrum of x rays transmitted each protector, and examined the composition of the protector from obtained results. As a result, the protection effect of the non-lead protector came to have at most 8% lower than the lead protector. The spectra of x rays transmitted the two types of protectors showed different shape. Therefore, it was suggested that we showed different protection effect even if the protector indicated the same lead equivalent.

Key words: interventional radiology (IVR), radio protector, protection effect, scattering radiation, x-ray spectrum

はじめに

2012年9月20日から23日までの4日間、中国吉林省長春市で開催された中華医学会影像技術学会(CSIT)第20次総会・学術大会に、日本放射線技術学会の「本学会と交流のある海外学会の研究集会への派遣会員」として参加させていただいた。今回、インターナショナルセッションにて研究発表を行ったので、その概要を報告する。

CSIT2012

CSITは、中国の診療放射線技師の学術団体で、年に1度(9~11月)中国各都市を巡回しながら総会学術大会を開催している。大会主催者と参加者とが非常に近い距離感にあるようにも感じ、会場の雰囲気はかなりアットホームな印象を受けた。研究発表は、一般演題は全て中国語で行われたが、スライドや抄録を見ることで、大体どのような研究を行っているか大雑把にはある



Photo 学会メイン会場にて
(左より)上田理事, 橋田学术交流委員長, 小倉副代表理事, 筆者, 李先生

が理解することができた。研究内容の差はあるものの、中には日本での学会でも見られるような研究内容もあり、興味深く聴講することができた。CSITに関する詳細は昨年参加された金沢大学の田中利恵先生の報告書(JSRT Vol.68 No.2 Feb 2012)を参考にさせていただきたい。

インターナショナルセッションは学会2日目に、一つの会場で1日通して英語で行われた。私は「Basic study in light weighting and the scattered protection effect of the radioprotective protector」と題して、interventional radiology(IVR)時に使用する軽量化された甲状腺用プロテクタの散乱線防護効果の検討結果を報告した。質疑応答では会場から質問をいただき、しどろもどろの英語と、会場の方からの手助けを受けながら、なんとか無事に終了することができた。また、セッション終了後には、他の方からも質問をいただき、情報を交換することもできた。

はじめての口述発表をアジア圏の学会で行って

私は、これまで海外で行われる学会ではポスター発表しか経験がなく、口述発表は初めての経験だった。しかし、他の参加者も英語を母国語として使用していないことで、初めてなりに堂々と発表を行うことができた

と思う。英語での口述発表を行うことになかなか踏み切れなかったが、『アジアでなら…』との思いから参加を決意できた。流暢な英語で発表している他の演者からも大きな刺激を受けることができ、世界の舞台で発表したいという思いが湧いてきたのは、今回の経験があつてのことだと思う。このような意味で、今回の経験は私にとって特別なものとなった。

来年度の大会は9月に北京での開催予定で、6月下旬ごろには本学会誌に詳細が発表されると思う。この報告書が、皆様に少しでも興味を持っていただけるきっかけになれば幸いである。

謝 辞

最後に、今回のCSITの参加にあたり、派遣会員として助成をいただきました真田 茂代表理事、学会期間中行動をとともにさせていただいた小倉明夫副代表理事、橋田昌弘学术交流委員長、上田克彦理事、ならびに学术交流委員会、日本放射線技術学会関係者各位に厚く御礼申し上げます。また、本研究に関して貴重なご助言を頂きました広島国際大学の上田善武教授、前田浩志講師、共同研究者の先生方、ならびに、九州大学病院医療技術部放射線部門の皆様にご心から感謝いたします。